

平成29年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目

教授

和田倫明

	取組状況
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「公民Ⅰ」生命倫理、科学技術倫理を前期に重点的に扱い、後期に哲学・宗教を扱いました。特に生命倫理・科学技術倫理については、内容を新しいものに更新したり、時事的な内容を取り入れています。 ・選択「倫理学」は旧課程の「人文社会演習」に代わる科目ですが、少人数の演習から大教室授業になったものの、永井均『倫理とは何か』をテキストに、またビデオ教材等を交えて、前期は講義中心、後期は「幸福」「正義」「自由」などのテーマで、受講者全員がレポート作成と発表・質疑と、参加型の授業を維持しました。 ・選択「心理学」は、テキストとビデオ教材などを使って、心理学の入門レベルの知識を着実に学べるようにしました。 ・Wコース5年の選択科目「臨床心理学」は、旧課程最後の開講となりましたが、前半は臨床心理学の基本を講義し、後半は心理アセスメントの作成と実施を体験する実習を行いました。
研究	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都高等学校公民科「倫理」「現代社会」研究会の事務局長として、年間5回の研究会を企画運営したほか、新学習指導要領「公共」に関する勉強会をコーディネートしました。 ・中国古代倫理思想に関する著書発表の準備として、文献調査、執筆に当たりました。 ・日本倫理学会の教育研究部会長として、授業研究を中心とした部会運営を進め、新学習指導要領の「公共」に関する提言をまとめて、学会長とともに文部科学省に提出しました。
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会の作業を分担しました。 ・文部科学省の学習指導要領実施状況調査委員として、「倫理」の調査分析に当たりました。